



【サルに出会ったら】

呉市農林水産課
Tel 25-3338

サルに出会ったときは、次の3つのこと守ってください。

- ちかよらない！
- 目をあわせない！
- エサとなる食べ物を見せない・すてない・あたえない！

じっと見られると、サルは攻撃されると思い興奮します。また、走って逃げると、自分より弱いと思い、攻撃してくることがあります。

ニホンザルのオスは、4歳から6歳になると生まれ育った群れを放れて、他の群れへ入るために旅をします。これは近親交配を避けるためとされていますが、その旅の道すがら住宅地へ迷い込むことがあります。

本来、他の群れへ入る目的の旅ですから、騒いだりして刺激しないで、放っておけば数日で立ち去ります。

食べ物を与えないでください。

放置されているビワや柿等の木をそのままにしているとサルに食べられ、結果としてサルを餌付けすることになります。網を張ったり、不要な実や木は取り払ってください。

野生の動物は、自然の中で生活する方が幸せです。住宅地にすみ着くことがないようにしましょう。

